

## 00 AALA ニュース 138号 内容紹介

### 01 「サンパウロ・フォーラム最終宣言」

編集部による全訳。論旨の骨子が展開されているのは第 22 節で、資本主義の体制的危機との闘い、新自由主義との闘い、巨大独占資本との闘い、圧力を加えてくるいわゆる覇権国との闘いなどを、「多様性の中で、団結して」進めることが書かれています。難解な学術用語は一切使わず、平易な言葉で書かれていますので、一般の人々が読みやすい宣言文です。

### 02 ワシントン・ポスト「世界はもはや米国の味方ではない」

ワシントン・ポスト紙無料記事の紹介。ザカリアは著名な国際政治評論家。見出しは 2 本

1. 新興国は "思い上がりと偽善 "に満ちた国、アメリカが嫌いだ
2. アメリカの衰退ではなく、他のすべての台頭 ( the rise of the rest ) が新しい世界だ

### 03 NY タイムズ「中国との対立で得をするのは誰か」

ニューヨーク・タイムズ社説の紹介。「孤立主義への復帰、国際関係からの離脱傾向は間違いだ」と訴えている。

### 04 アジアタイムズ「中国の外交的勝利は米国の失敗がもたらす」

バイデン政権が国際政治を「民主主義対独裁主義」の闘争と決めつけ、アメリカが同盟国以外との有意義な外交を避けていることを考えれば、ワシントンが北京、モスクワ、テヘラン、リヤドとの関係から締め出されるのは当然である。

### 05 千葉 AALA 「与那国島の人々の発言」

千葉 AALA 機関紙からの転載です。

与那国島の人々は、PAC3 の配備初め、今後電子戦部隊、地对空ミサイル部隊の配備が計画されていて、自衛隊が増強されることにとっても不安を感じています。

与那国島の公民館で交流した島の人々の思い、聞いた声を、ほぼそのままお伝えしたいと思います。(文責:上田)

## 06 JD サックス「お金は世界を回る、そして世界は進歩する

J.D. サックスの新しい国際経済秩序を見通した評論です。国際融資枠の拡大と貸出条件の緩和があれば、途上国は自力で危機を脱出できると述べています。

## 08 短信欄

- 1) 19 July 2023 teleSUR サンパウロ・フォーラムが閉幕
- 2) 鈴木頌「浅井基文“国際情勢と中国外交”を学ぶ」
- 3) キューバに中国のスパイ基地が存在するというウソ
- 4) 「キューバは、グアンタナモ湾における米原子力潜水艦の停泊に抗議する」
- 5) [紹介 「安斎育郎のウクライナ戦争論」](#) 文責 鈴木頌